

令和4年11月分

受付日	提案テーマ	提案内容	主管課の考え方や処理方針	主管課
11月21日	熊取駅西の開発	<p>本日のLINEを見ました。 「みなさんがいつも使っているロータリーの反対側」と言う文言が非常に気になりました。 なぜ、普段使っていないのに開発する必要があったのでしょうか？ また、ほとんど泉佐野の土地だと思いますが、誰のための開発なのでしょう？泉佐野市や泉佐野市民のために行っている工事でしょうか？首長や役所の偉い人たちの同士で何か取り引きがあったとしか思えないような気がします。</p>	<p>このたびは熊取駅西の開発につきましてご意見をいただきありがとうございます。熊取町では泉佐野市と協力し、下記を目的として熊取駅西地区の整備を進めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 熊取駅西地区へのアクセス向上、快速停車駅の高いポテンシャルを活かした土地利用を促進し、商業・サービス業等の都市機能を集約することで熊取町の玄関口にふさわしいにぎわいの創出を図ります。 熊取駅西交通広場及び駅前アクセス道路を整備することにより、熊取駅東西に交通量を分散し、熊取駅東地区の駅前ロータリーの混雑緩和を図ります。 <p>今後とも、住民の皆さまが安全かつ安心して生活できるよう道路の整備・維持管理に努めてまいりますのでご理解賜りますようお願いいたします。</p>	道路公園課
11月28日	不登校に関して	<p>全国の不登校児童数が、先日約24万人(大阪約1.8万・いじめを合わせると約5.4万人)発表されました。子供の数が減っているのに年々増加しています。 そこで、学校内容の取り組み内容を拝見させていただきました。不登校に関する施策について、具体案は全くありませんでした。取り組みについても現状何をしているのかもわかりません。またそれについての支援・援助も熊取町では、何もありません。 11月に泉佐野で不登校に関する講演がある旨を、小中学校の先生にお伝えしました。その話は、教育委員会側にも伝わっているのでしょうか？それともすでにご存じだったのでしょうか？もちろん伝えた先生方は、来られていません。また、熊取の関係者は、出席されたのでしょうか？多くの学校関係者のかたは、いました。が… どうしても、熊取は、他の市町村に比べると、不登校に関する考え、支援などが、全体的にできていないと感じております。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 各校においては、不登校の児童生徒に対して、校内における適応指導教室や家庭訪問など、様々なとりくみを進めているところです。また、行事などの教育活動で、子どもたちが主体的に活動できるよう工夫し、仲間づくりや居場所づくりを進めています。しかしながら、ご指摘のとおり、HPIにおいて、具体的なとりくみを十分紹介できていません。今後、各校におけるとりくみを積極的に発信していきたいと考えております。 11月に開催された講演のことは、教育委員会としましては把握しておりませんでした。11月12日は町で開催されていた文化的行事に中学生が参加していたこともあり、教職員や教育委員会職員がそちらに参加しておりました。 これまでも府や町の関係者の研修および校内研修を通して、子ども理解等、不登校について教職員が学ぶ機会を設けておりますが、今後もすべての子どもが安心して過ごすことのできるよう学校づくりに努めてまいります。</p>	学校教育課